

日独産業協会
Deutsch-Japanischer
Wirtschaftskreis

会員総会議事録

日独産業協会 (DJW)
2022 年年次報告

開催日時	2023年5月25日 13:30～15:00(ドイツ時間)
開催地	ドイツ・オットーブルン / Microsoft Teams を利用したオンライン会議
議事進行	ゲアハルト・ヴィースホイ(理事長)
議事録作成	アリソン・トネ(プロジェクトアシスタント)
選挙進行	アンネ・ポムゼル(事務局長)
出席者	DJW 会員およびゲスト計 77 名(出席者リストは DJW 事務局にて保管)
議事次第	議題 1 開会挨拶、定款規定に則った会議招集と議事次第の確認 議題 2 2022 年会員総会議事録 の承認 議題 3 2022 年活動報告および財務報告 議題 4 会計監査人からの報告 議題 5 理事会および事務局の活動の承認 議題 6 今後の取り組み 議題 7 選挙 議題 8 その他

議題 1

開会挨拶、定款規定に則った会議招集および議事次第の確認

DJW 理事長ゲアハルト・ヴィースホイが会員総会の開会を宣言し、出席者に歓迎の辞を述べた。対面、そしてオンラインでの DJW 会員との久々の再会を喜ぶとともに、今後ますます緊密になるだろう日独関係の重要性を強調した。

続いて DJW 事務局長アンネ・ポムゼルが、DJW 事務局一同を代表して出席者に挨拶し、会員の手元にある文書について確認を行った。ハイブリッド会員総会の開催準備にあたり、これらの資料は 2023 年 4 月 19 日付けの電子メールにて会員総会の案内とともに送付(2023 年 DJW 会員総会のご案内)、あるいは個別に閲覧・ダウンロードできるよう DJW ウェブサイト上に掲載した(2022 年会員総会議事録 / 2022 年活動報告および財務報告)。

更にポムゼルは、総会におけるデジタル採決ならびに予定されている選挙の投票に際しては、リアルタイムでの匿名かつ秘密投票を可能とするオンライン投票システム「POLYAS」を使用する旨に言及。同システムの利用に関連する、会議の進行手順について解説を加えた。

これをもってヴィースホイは、本会員総会が定款に規定された方法および期日に則って招集されたことを確認(付属資料 1「2023 年 DJW 会員総会のご案内」を参照)。議題の変更を求める意見はなく、議事次第は投票権を有する出席者によるデジタル投票をもって賛成 37 票、棄権 1 票で承認された。

議題 2

2022 年会員総会議事録の承認

電子メールの添付資料として送付された、2022 年 5 月 9 日にオンラインにて開催された前年の会員総会の議事録は、本総会に出席し投票権を有する会員により、賛成 41 票、棄権 2 票で承認された。

議題 3

2022 年活動報告および財務報告

ポムゼルは、DJW の全活動分野を包括的に紹介した「2022 年活動報告および財務報告」(付属資料 2「2022 年活動報告および財務報告」を参照)に議題を移した。なお同報告書は、事前にオンライン上で公開され自由にアクセス可能である。まず、定例化しているイベント形式である DJW「Spot On!」、「日独ビジネスレセプション」、そして伝統となっている「DJW 会」など、「イベント」分野の活動概要を説明した。また、DJW「Executive Lounge」ならびに経済同友会との協力に基づく「CEO Online Dialogue」も成功裏に継続されたこと、および報告年度には、ワーキンググループや Squads との協力も引き続き行われ、そこから DJW ネットワークのための更なる活動、あるいはイベントに繋がった旨を報告。さらに、「コンタクトおよびインフォメーション・プラットフォーム」の分野に関し、DJW の Networking Hub、エキスパートプール、インフォメーションマッピング、日独関連テーマを集めたインフォメーションプール、デジタル形式によるジョブプールについて説明。最後に、「広報」の分野では、「倫理行動規範」の発表、さらに DJW のイメージパンフレットのデザイン刷新と印刷における成功、バナー、ピンバッジ、モデレーションカードなど様々な印刷物を通じた協会イメージの統一、ドイツ連邦政府に対するロビー団体としての登録、また、ウェブサイト上サービスであるイベントへの参加申込やジョブプールなど、絶えず変化するニーズに合わせて最適化した点について取り上げた。

2022 年会計年度は、31,329 ユーロの損失であった。この結果は、2020 年会計年度の繰越額に相当するものであり、会計規則に従い 2 年まで繰り越されたものである。これに関連してヴィースホイは、収入、し支出ともにすべて適切に計算されており、協会の活動趣旨に沿っていること、損失は協会活動への投資の結果に基づくものであることを補足。続いてポムゼルが、収入および支出の詳細とともに、2022 年度会計に関して、2023 年 5 月に減損分の修正が行われ、2023 年の年次総会前に修正済会計報告書が確定されたことを説明した。

FINANZEN 2022 | 2022年財務情報

VEREINFACHTE EINNAHMEN- UND AUSGABENÜBERSICHT 2022 | 2022年収支報告(簡易版)

Einnahmen (EUR) 収入 (EUR)	2022	2021	Ausgaben (EUR) 支出 (EUR)	2022	2021
Mitgliedsbeiträge 年会費	305.650	307.681	Personal- und Bürokosten 人件費・事務費	254.210	260.840
- Reguläre Mitglieder 正会員	174.700	188.783	(z. B. Gehälter, Büroinfrastruktur 給与、事務 消耗品費など)		
- Förderer 協賛会員	106.500	107.000	Veranstaltungen イベント	68.624	17.881
- offene Beitragsforderungen 未納会費分	23.940	10.000	(z. B. Catering, Raummiete, Reisekosten ケータリング、会場使用料、出張経費など)		
- Währungsausgleich 通貨調整	510	1.898	Abschreibungen 減価償却	10.971	5.274
Spenden 寄付	0.00	0.00	(Sachanlagen, GWG, Forderungsverluste 損耗のための控除、少額固定資産、売却金損失)		
Veranstaltungen イベント	43.961	11.346	Sonstige その他	58.926	38.999
(Sponsoring, Teilnahmebeiträge, Schulungen スポンサー費、参加費、研修費)			(z. B. Bank, Buchführung, Versicherung, Beratung, Repräsentations- und Öffentlichkeitsarbeit 銀行手数料、会計事務、 保険、コンサルティング料、外交・広報活動費)		
Sonstige その他	11.791	12.277	Summe 合計	392.731	322.994
(Kooperationen 協力費)					
Summe 合計	361.402	331.304			

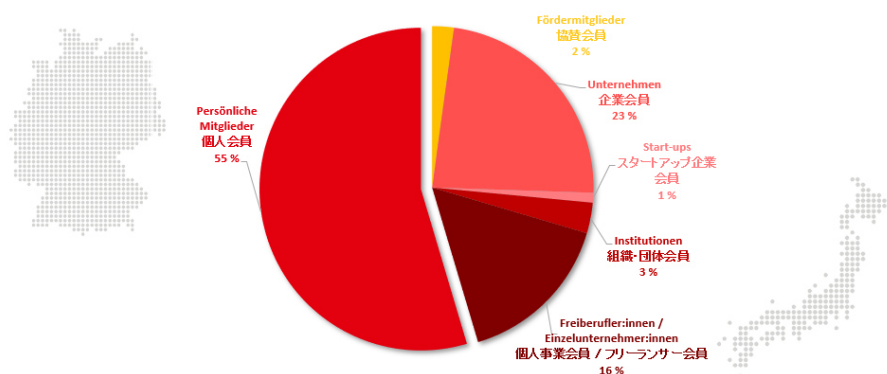
Vereinsergebnis 2022 (Negativbetrag) |
単年収支(赤字) **31.329**

DJW – Mitgliederversammlung (Hybrid, 25.05.2023)

Hinweis: Zahlen wurden qualitativ zusammengefasst und gerundet.
注:本報告では収支の大項目のみ掲載し、また端数は切り捨てて表示しています。

UNSERE MITGLIEDER 2022 | 2022年会員構成状況

NACH MITGLIEDSKATEGORIE | 会員カテゴリー別

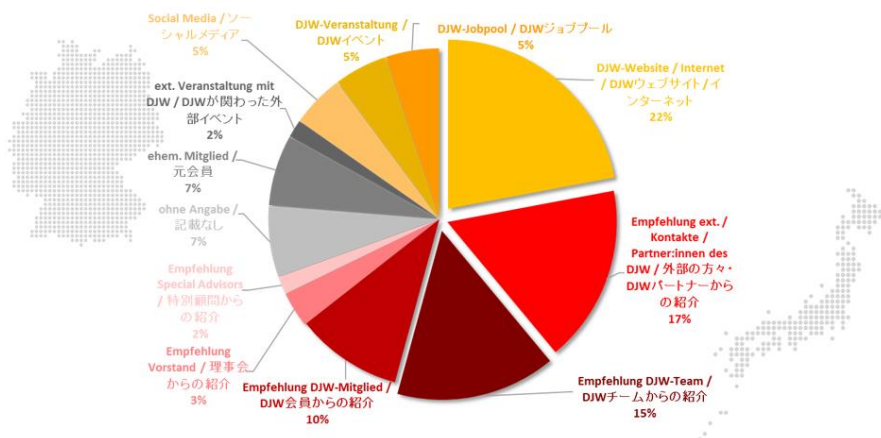


Netzwerk von 1.011 Mitgliedern (Stand: 31.12.2022) |
会員数1,011のネットワーク(2022年12月31日時点)

DJW – Mitgliederversammlung (Hybrid, 25.05.2023)

UNSERE MITGLIEDER 2022 | 2022年会員構成状況

NEUMITGLIEDER NACH BEITRITTSGRÜNDEN (GESAMT: 59) | 新規会員の入会理由 (計: 59)



DJW – Mitgliederversammlung (Hybrid, 25.05.2023)

以上をもって、ポムゼルは議題3の報告を終了した。

議題 4

会計監査人からの報告

2022年5月9日のDJW会員総会において選任された会計監査人サンドラ・ファイネンは2023年4月から5月にかけて、シュノーブス・ヘルムホルト・ヴァルデマン会計事務所 (Schnorbus Helmhold Wardemann PartGmbH, Kanalstraße 2, 41460 Neuss) 作成の会計年度2022年度分のDJW会計報告書を受領するとともにその内容を確認。更に、収支報告の添付資料を無作為に抽出し、これを精査した。その結果として、協会のすべての支出が定款の規定および活動趣旨を遵守し適切に行われたことを(事前に書面にて)報告(付属資料3「2022年を報告年とする会計監査報告」参照)。これに対する異議申し立てはなし。

以上の結果より、監査人は理事会および事務局の2022年の活動に関し、会員総会に対し条件なしでの承認を提案した。

議題 5

理事会および事務局の活動の承認

会計監査人サンドラ・ファイネンはその監査報告書において、理事会および事務局の2022年の活動の承認を発議。会員総会はこれを、賛成44票、棄権1票で承認した。ヴィースホイトとポムゼルは理事メンバーと事務局を代表して、会員からの信頼に対し感謝の意を述べた。

議題 6

今後の取り組み

2023年4月のハノーバーメッセにおいて、「重なる危機下における持続可能な生産とエネルギー供給」をテーマに開催された「第16回日独ビジネスフォーラム」に、DJWは積極的に関与し、大きな成功をおさめた。DJWは時代の潮流への機敏な対応を示すことができたと言える。また現地では、120名の参加者を迎えることができた。同イベントでは、ヨハンナ・シリング(ECOS)とポムゼルが司会を務めた。6月9日にはフランクフルトのニッポン・コネクション映画祭の一環としてDJWキャリア・トークを、6月30日にはデュッセルドルフのドコミの一環としてDJW会を開催するなど、さらなるイベントやプロジェクトが計画されている。また、東京でのDJWシンポジウムは2023年11月24日に開催予定となっている。

これらに加えてポムゼルは、「DJW Ambassador」のアイデアを紹介し、その背景につき説明した。この構想によって、DJWは2つの具体的な目標を達成したいと考えている。第一に、協会のために積極的に活動するDJW会員に有益なツールを提供すること、第二に、日独経済・ビジネスネットワークを、新たな視点と刺激、そして何より会員の存在によって一層強化することである。2023年6月30日には、このコンセプトをさらに発展させ、具体化するためのDJW Squadミーティングが予定されており、DJW会員の参加とインプットが期待されている。

議題 7

選挙

3年の任期満了を迎えた次の3名の理事が再任に立候補。

成川哲夫(DJW 副理事長、三菱地所株式会社社外取締役、岡三証券株式会社社外取締役)

ヴィルフリード・シュミット(コンサルタント)

フォルカー・シュタンツェル(元大使)

上記3名の候補者全員が理事に再任され(成川:賛成46票、シュミット:賛成38票、反対2票、棄権4票、シュタンツェル:賛成43票、反対1票)、全候補者が投票結果を受け入れ(総会に欠席の場合は、事前に書面にて意向を表明)、2026年を任期とする理事職に着任した。

議題 8

その他

ヴィースホイとポムゼルはDJW会員と出席者の益々の健勝を祈念し、2022年度会員総会を閉会した。

2023年7月デュッセルドルフ

ゲアハルト・ヴィースホイ

理事長

アンネ・ポムゼル

事務局長

付属書類(一部はウェブサイトよりダウンロード可能)

- 1) [2023年DJW会員総会のご案内](#)
- 2) [2022年度活動報告および財務報告](#)
- 3) 2022年を報告年度とする会計監査報告

BERICHT DER KASSENPRÜFERIN | 監査報告

KASSENPRÜFUNG IM MAI 2023 | 2023年5月実施監査

Ergebnisprotokoll der ehrenamtlichen Kassenprüfung für das Geschäftsjahr 2022

Die von der DJW-Mitgliederversammlung am 09. Mai 2022 zur Kassenprüferin gewählte Frau Sandra Feinen hat im April / Mai 2023 Einblick in den von der Kanzlei Schnorbus Helmhold Wardemann (Schnorbus Helmhold Wardemann PartGmbH, Kanalstraße 2, 41460 Neuss) erstellten DJW-Jahresabschluss für das Geschäftsjahr 2022 erhalten. Darüber hinaus hat sie stichprobenartig Einsicht in die dazugehörigen Belege genommen.

Als Ergebnis hat Frau Feinen bestätigt, dass alle vom Verein getätigten Ausgaben den Bestimmungen der Satzung entsprachen und zweckmäßig getätigt wurden. Es haben sich keine Beanstandungen ergeben.

Sie empfiehlt daher der Mitgliederversammlung die uneingeschränkte Entlastung des Vorstands und der Geschäftsführung für das Berichtsjahr 2022.

Düsseldorf, den 16. Mai 2023,

Sandra Feinen